



宿南地区文化祭 今年度も中止に

宿南地区文化祭について、第2回文化部会において農林物産展と作品展示に限定して開催の方向で検討するとしていました。10月11日(火)第3回文化部会が開催され、新型コロナウイルス感染症がまだ終息に至らず、感染が危惧される中での開催はできないという意見が多くあり、誠に残念ではありますが、今年度も中止することに決定されました。

農林物産展に出品予定で野菜を育てていただいていた方、作品展に出展、芸能発表の出演を考えておられました皆様には大変申し訳ありません。

文化部としては、魅力発信プロジェクトの協力を得て、文化祭に代わるイベントとして「宿南の魅力発見フォトコンテスト」を開催します。(別途チラシを御覧下さい)



小学校 稲刈り



9月7日(水)に宿南小学校3・4・5年生9人で稲刈りを行いました。雨降りあげくの田んぼには水が溜っている箇所もあり足元はよくない中、宿南営農組合の皆さんの指導で行いました。例年より手刈りの面積は少なかったのですが、今年も稲刈り鎌を使い、稲を束ね、稲木に掛けるという貴重な体験をすることができました。



夏休み作品展開催しました



9月9日から30日までふれあい倶楽部 梅の間で宿南小学校児童の夏休み作品展を開催しました。会議の時、ふれあい喫茶の時など多くの地域の皆さんに見ていただきました。



身近で見られる植物 ⑰

ミゾソバ（溝蕎麦）〈タデ科〉

山野の水辺に群生して、普通に見られる一年草です。溝に生えるソバに似た草なので、この名前付けられたようです。葉の形が牛の額に似ている事から、別名を「ウシノヒタイ」とも言います。

花言葉は「純情」「風変わり」だそうです。



熊・猿 出没に注意

これからの季節例年 熊・猿などが人里に多く出没するようになります。被害を少なくするために、生ゴミは外に置かない。柿などは早めに収穫する。熊鈴をつける。ラジオを鳴らす。もしも出会ったら目を合さない。夜道はできるだけ歩かない等・・・被害に遭わないように注意しましょう。



お知らせ

10月19日（水）こども園小学校1・2年生
による秋祭り神輿練り歩き

10月22日（土）たじま未来づくり講座（宿南編）
於：ふれあい倶楽部・青谿書院他

10月23日（日）養父市体験ツアー受け入れ（午後）

10月30日（日）村民号（出雲方面）

11月13日（日）秋の消防合同訓練（寄宮・町地区内）

11月20日（日）小学校学習発表会（午前）



草庵先生紹介

日記 44



青谿書院の建物が増築された安政の時代に、同時に整備された石段や周辺の石垣

濱篤さん作

青谿書院が開塾してしばらくは、入塾する者は近辺からがほとんどだった。しかし、池田草庵の名が知られるようになってくると全国のあちこちから入塾する者が増えてきた。「今日の午後、大石牧の書生3名入塾。福田勘解由入塾」（安政3〈1856〉年5月6日）

「今日午前、讃岐の多度津藩の3名入塾」（文久2〈1862〉年9月1日）

特に嘉永6（1853）年浦賀にアメリカの軍艦の来航、文久3（1863）年の生野の変など国内が騒然としてくると、入塾者が増えてきた。門人帳に記されている670名余りを、5年ごとに合計していくと次のようになり、塾生が急速に増えていったことがわかる（「解説・山窓功課下巻」西村英一氏編の付録資料をもとに集計）弘化4（1847）年、42人▷嘉永5（1852）年、46人▷安政4（1857）年、73人▷文久2（1862）年、101人▷慶応2（1866）年、185人、▷明治4（1871）年、125人▷明治9（1876）年～明治11年、41人

世の中が激しく移り変わっていく中で、これからの日本のあり方や自分の生き方について、草庵から学びたいとやって来たのだ。これらの多くの塾生が同時に書院に在籍していたわけではない。数カ月や1、2年だけで退塾する人たちもあった。しかし、入塾希望者の増加には、従来の広さの青谿書院では対応できなくなってきて、母屋や宿舍の建て増しが行なわれた。

母屋は講義や学習する床の間つきの6畳と8畳の2部屋が増築された。塾生の宿舍も8畳と10畳の広さの2階建てを2棟建て増した、

「精義寮の造作がほぼできあがる」（文久3〈1863〉年9月17日）

これは寮の2棟目の建て増しが終わった時のことだ。青谿書院ができてから15年余り後である。この時で、ほぼ建て増しは終わった。ただし、この時代に建てられた宿舍は2棟とも現存しない。

池田草庵先生に学ぶ会